



フェリスホールのための募金コンサート

2026年 3月28日(土)14:00 開演 (13:30 開場)

フェリスホール

主催 | フェリス女学院大学音楽学部同窓会Fグループ 協力 | フェリス女学院大学音楽学部



*f*group

SOLI DEO GLORIA

「横浜の宝ですね。」

ミュージア川崎等、数々の音楽ホール設計・建築に関わってきたH氏は、フェリスホールの照明と音響設備を丁寧に見回ってから、そういった。物静かな小学生だったH氏は、大のクラシック好きが長じて音楽ホール専門の建築家になった。ヨーロッパ各地のホールを見て回ったり、音楽イベントを企画したり。H氏が同級生のよしみでホールを見てくれてから、もう1年以上になる。

音楽は、間違いなくフェリス女学院大学の大きな特徴のひとつ。学生獲得の困難から、演奏学科を閉じ音楽芸術学科一本にし、2025年度からは音楽学部を文化表現学科の音楽・身体表現専攻に再編した。一見、縮小に見えるが、音楽と舞台芸術をリベラル・アーツの中に位置付けることで、他大学にはない、ユニークな教育を提供しようとしている。実技科目(PA)を維持し副専攻に音楽を新設したので、演奏技術を磨こうとする学生には音楽大学並みのチャンスがある。一方で、音楽や舞台芸術に関連する幅広い分野に貢献できる人を育てること、音楽を人生の伴侶として仕事の傍ら続けたい人の希望に応えることを視野に入れた。

フェリスホールは、その新しい教育プログラムの中核となる施設である。フェリスの教育の発信起点として、またフェリスと地域との結びつきの場として、長く維持して行きたい。ヴォーリス事務所が竣工してから38年。整備への投資が待たれている。

フェリス女学院大学学長 小楢山 ルイ



フェリスホールは礼拝、音楽ホール、そして授業のために日々用いられています。最近では照明や音響の不具合ができました。ホールのために何かできないかという同窓生の祈りから始まったこのコンサート。皆さまとご一緒に今日を迎えることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

次にご紹介する故・中島省吾先生のメッセージは、私たちへ、フェリスに息づく音楽

の伝統やホール建設へ向けた熱き思いを伝えてくださいました。このような大きな恵のなかに学び、音楽とともに歩む幸せを心に刻みつつ、フェリスでの音楽が、これからも脈々と受け継がれ、このホールに響き続きますよう祈っています。

フェリス女学院大学音楽学部同窓会Fグループ
募金コンサート実行委員会

1888年(明治21年)、フェリス女学院は2つの校舎の新築とともに、その教員陣に記憶されるべき1人の外国婦人ミス・ジュリア・モルトンを加えた。西洋音楽教育の専門家としてとくに迎えられた彼女は、1922年に急逝されるまで30余年にわたり、教え子林貞子らとともに、フェリス女学院での音楽教育に献身された。ミス・モルトンが全く新しい方式での音楽教育を開始されたのは、東京音楽学校(現在の東京藝術大学)の発足とほぼ同じ時期である。

1870年の発足以来10数年にわたり、近代日本の黎明期に女子教育の烽火を守っていたフェリス女学院に1つの新しい名物が加わったと当時巷間に伝えられたという。

フェリス女学院が西洋音楽教育にとくに力を注いだのは、その建学の基礎となっているプロテスタント・キリスト教とのかかわりにおいてである。そのことはフェリスでの音楽プログラムを高等教育のレベルにおける専門的音楽教育・研究へ、とくに教会音楽の高水準の研修・研究へと発展せしめる契機を含んでいた。しかし、ミス・モルトンの急逝と林貞子の永眠とによってその実現は遅れた。第二次大戦後に至り、その志は専門学校へそして短期大学へと引きつがれた。1989年4月、フェリス女学院大学音楽学部は短期大学音楽科の発展改組により、プロテスタント教会音楽の研修・研究を中心目的として発足した。

フェリス女学院に音楽演奏ホールを兼ねうる大教室を設けることはかねてから要望されていた。また、その大教室は既存の講堂と異なる機能を備えたチャペルとしても用いられうることが望まれた。さらに、かねてから関係者が熱望していたパイプオルガンをこの機会に設置することもあわせて検討されることになった。幸いに山手の本



通りに面する適地を取得していたので、この敷地にコンサートホールおよびチャペルを兼ねうる大教室を建設すること、その中にパイプオルガンを設置すること、そして、これらの計画の実現の時期は大学音楽学部発足時を目標とすることが決定された。

フェリス女学院前理事長石井千明氏は当女学院の発展充実のために、久しく献身的にご奉仕下さったが、この計画にあたりパイプオルガン購入のために、多額のご寄附を申出られた。関係者は感激し、深い感謝の念をもってその御厚志をお受けすることとし、協議のうえ、そのご寄附頂いた金額に当初の予算を加えて、当初計画をはるかに上まわる本格的グランド・オルガンを設置することとした。

オルガン建造はフェリス女学院出身者で当時ニューイングランド音楽院のオルガン科主任教授であられた林佑子氏の推薦をもとに検討した結果、米国ヴァージニア州のTaylor & Boody社に発注した。建物の設計監理は(株)一粒社ヴォーリズ建築事務所に、音響設計監理は(株)永田穂建築音響設計事務所に依頼し、三者の協力のもとにこの建物とパイプオルガンが計画された。(株)大林組が建築工事を担当され、多くの困難を乗り越えて無事にこの建物を完成された。オルガンの部品の輸送・搬入、組立、整音も奇蹟的に順調に進んだ。これらすべてにおける関係者のご労苦に学院関係者一同とともに衷心より感謝の意を表したい。そして、これらすべてにわたって絶大な恵みと御導きを惜しみなく与えたもうた、主なる神の栄光を讃美したてまつる。

SOLI DEO GLORIA ただ神にのみ栄光あれ
1989年12月14日
フェリス女学院理事長・学院長 中島省吾

(フェリスホールパンフレットより 一部編集)





program i

岡島 雅興：『水野源三の詩による5つの聖歌』より 「御言葉」

女声アンサンブル cond. 海野 美栄 & organ 阪野 真結子

W. A. モーツァルト：デュポールのメヌエットによる9つの変奏曲 K. 573

Wolfgang Amadeus Mozart : 9 Variationen über ein Menuett von Duport D-dur K. 573

piano 小林 周子

E. グリーグ： 抒情小曲集第5集より 「夜想曲」 op. 54-4

Edvard Hagerup Grieg : Notturmo op. 54-4 , *Lyriske smastykker No. 5*

F. ショパン： 舟歌 嬰へ長調 op. 60

Frederic Chopin : Barcarolle Fis-dur op. 60

piano 黒川 知栄子

中田 喜直： 「歌をください」

F. プーランク： 「愛の小径」

Francis Poulenc : Les chemins de l'amour

soprano 齊藤 京子 & piano 長谷川 友子

E. グリーグ： 『ペール・ギュント』 第1組曲 op. 46 より

I 朝 III アニトラの踊り IV 山の魔王の宮殿にて

Edvard Hagerup Grieg : I Morgenstemning III Anitras Dance IV I Dovregubbens Hall ,
Peer Gynt, Suite No. 1 op. 46

『ノルウェー舞曲』 op. 35 より 第1番

Allegro moderato d-moll op. 35-1, *Norwegian dances*

piano duo 伊藤 慧 & 漆間 有紀





program ii

- W. A. モーツァルト： 『フィガロの結婚』 より
「愛の神様よ」「手紙の二重唱」「ついにこの時が来た」
Wolfgang Amadeus Mozart : "Porgi amor" "Sull'aria" "Giunse alfin il momento", *Le nozze di Figaro*
soprano 海野 美栄 & 齊藤 京子
& Fグループアンサンブル
- P. チャイコフスキー： 弦楽セレナーデ ハ長調 op. 48 第1楽章
Pyotr Il'ich Tchaikovsky : Serenade for Strings C-dur op. 48
i Pezzo in Forma di sonatina: Andante non troppo - Allegro Moderato
Fグループアンサンブル
- G. F. ヘンデル： 『メサイア』 より 「わたしを贖う方は生きておられる」
Georg Friedrich Händel : "I know that my Redeemer liveth", *MESSIAH*
soprano 齊藤 京子 & Fグループアンサンブル
- F. メンデルスゾーン： 『3つのモテット』 より 「ほめたたえよ、主の僕らよ」
Felix Mendelssohn : laudate pueri op. 39-2, *Drei Motetten*
女声アンサンブル cond. 海野 美栄 & organ 阪野真結子
- J. S. バッハ： 「おお人よ、汝の罪の大いなるを嘆け」 BWV 622
Johann Sebastian Bach : O Mensch, bewein dein Sünde groß BWV 622
パッサカリア ハ短調 BWV 582
Passacaglia und Fuge c-moll BWV 582
organ 三浦 はつみ





S. Kobayashi

小林 周子 (29回) piano

フェリス女学院中学校高等学校、短期大学音楽科卒業、同専攻科研究科修了。ピアノを川崎ミソラ、海老名道子、河野元の各氏に、歌曲伴奏をE. F. ザイラー氏に師事。欧州ではK.ゼーマン氏、H.ロロフ氏に師事。現在、フェリス女学院大学並びにフェリス音楽教室非常勤講師。日本ピアノ教育連盟、横浜音楽文化協会会員。ソロ活動のほか声楽、室内楽の分野で幅広く活動している。



C. Kurokawa

黒川 知栄子 (25回) piano

フェリス女学院短期大学音楽科卒業、同専攻科修了。故山岡優子、故安川加寿子各氏に師事。読売新人演奏会、神奈川県立音楽堂推薦音楽会に出演。第22回文化放送音楽賞受賞。神奈川県青少年オーケストラ、井上道義指揮N響メンバーによるオーケストラと共演。第56回戸塚クラシックコンサートに出演。ウィーンメロス音楽セミナーにてJ.クロフィッチ氏に師事。現在、フェリス音楽教室講師。



K. Saito

齊藤 京子 (34回) soprano

ニューヨークのジュリアード学院で研鑽を積み、1992年、若手音楽家をプロの道へと導くヤングコンサートアーティスト国際オーディションに優勝。欧米や日本の主要コンサートホールでリサイタルやオーケストラと共演。オペラは、ピーター・ブルック演出「ペレアスの感銘」メリザンド役でデビュー。小澤征爾、C. アバドなど著名な指揮者と共演。2002年から4年間、母校フェリス女学院の助教授を務める。



T. Hasegawa

長谷川 友子 (34回) piano

フェリス女学院短期大学音楽科卒業、同専攻科及び研究科修了。久保浩氏に師事。神奈川県立音楽堂推薦音楽会出演。フェリス音楽教室、ヤマハ音楽教室各講師を経て自宅講師。知的障がいのある人のレッスンに携わるほか、福祉施設での演奏奉仕活動を続けている。



K. Ito

伊藤 慧 & 漆間 有紀 第1回山手の丘音楽コンクール連弾部門第1位、Fグループ賞、横浜ロイヤルパーク賞を受賞。サウンドインレーベルより「2台ピアノによる動物の謝肉祭」をリリース。

伊藤 慧 (57回) piano (primo)

フェリス女学院大学音楽学部器楽科卒業。江口海外奨学金他多数の奨学金を授与されドイツ・ブレーメン芸大学にて学ぶ。ポーランドクラクフ国立室内管弦楽団、N響団友オーケストラ、神奈川フィル等と共演。サルビアホール、あじさいプラザアーティスト。全国各地のコンクールの審査員も務める。

公式YouTube Kちゃんねるは登録者数17,000人、総再生回数300万回を超える。



Y. Urushima

漆間 有紀 (58回) piano (second)

フェリス女学院大学音楽学部演奏学科を経て同大学院修了。器楽部門賞受賞。これまでにピアノを江崎光世、山田有里子、橋高昌男、黒川浩の各氏に師事。読売新人演奏会をはじめオーケストラ共演、BS-TBS「日本名曲アルバム」出演など、合唱伴奏やアンサンブルピアニストとして幅広く活動。後進の指導にもあたる。



海野 美栄 (44回) soprano & cond.

フェリス女学院大学音楽学部を三宅賞を以て卒業、同大学院修了。二期会公演
ブリテン『真夏の夜の夢』でオペラデビュー後、国内外でオペラ、コンサートな
ど多数出演。また、宗教曲のソリストを務める。ニューヨークにてD. Elias、
R. Falcon両氏のもと研鑽を積む。近年は合唱団のヴォイストレーナー、指揮者とし
ても活動。現在、明治大学リバティアカデミー講師、二期会、東京室内歌劇場
会員。杉並児童合唱団指揮者。



三浦 はつみ organ

東京藝術大学音楽学部器楽科オルガン専攻卒業。ボストン・ニューイングラン
ド音楽院にてアーティストディプロマを取得。オルガンを秋元道雄、廣野嗣雄、
島田麗子、菊池みち子、G.ボヴェ、林佑子の各氏に師事した。現在、フェリス女
学院大学非常勤講師、日本聖公会横浜聖アンデレ教会オルガニスト。平成19年度
横浜文化賞文化・芸術奨励賞、令和3年度横浜文化賞受賞。

Fグループアンサンブル string ensemble



1990年フェリス女学院短期大学音楽科弦楽
専攻の卒業生により故久保田良作氏を中心に
結成。その後、音楽学部卒業生も加わり、
1998年から故久山恵子氏を迎えて演奏会を重
ねる。2015年フェリス女学院大学音楽学部名
誉教授故名倉淑子氏を迎え、新メンバーも多
数加わる。2019年より指導およびコンサート
ミストレスとして千葉純子氏を迎え、現在39
回卒から68回卒までの20名で活動している。

千葉 純子 violin concertmistress・弦楽指導

桐朋女子高等学校音楽科、ジュリアード音楽院を卒業。NYArtists
International Competitionで優勝、カーネギーリサイタルホールでNYデビュー。
ブラハ放送交響楽団、ブラハ室内管弦楽団、パイヤール室内管弦楽団、ドイツ・
バッハソリスト、ウィーン・ヴィルトゥオーゾなどと共演。CDは、カメラ
ータ・トウキョウ、アウローラ・クラシカル、ビクターよりリリース。ソロ、室内
楽、紀尾井ホール室内管弦楽団のメンバー。フェリス女学院大学音楽学部、洗足
学園音楽大学非常勤講師。

井上 雅代 cello・弦楽指導

東京藝術大学付属高校を経て、東京藝術大学卒業。鎌倉学生コンクールにて
第1位、ならびに教育委員会賞を受賞。東京文化会館推薦コンサートに出演。ピ
アノ教育連盟トリオ部門入賞。神奈川県及び横浜市の新人演奏会に出演。これま
でに桐朋学園嘱託演奏員、桐朋学園音楽教室チェロ講師、北鎌倉女子学園音楽学
部非常勤講師を務める。現在フェリス女学院大学音楽学部非常勤講師。洗足学園
音楽大学非常勤講師。



Violin	千葉 純子	伊郷 彩花(56回)	稲葉 百合子	内山 和江(39回)
	鶴田 枝里(54回)	中川 里奈(48回)	平田 仁美	平野 京子(57回)
	平山 智子(55回)	藤林 友(56回)	三宅 麻里花(68回)	吉田 牧子(39回)
Viola	犬飼 美奈(48回)	田村 しおり(50回)	山田 典子(55回)	
Cello	井上 雅代	磯野 由美(57回)		
Contrabass	渡辺 恭一(賛助)			

女声アンサンブル 本公演の為に集まった卒業生による女声アンサンブル。指揮を海野美栄が務める。

soprano 天沼 朝子(65回) 上野 さゆり(61回) 河崎 佳織(32回) 黒柳 恵理華(40回)
 澤崎 百合子(30回) 柴田 美和子(21回) 増田 亜紀(院13回)

mezzo soprano 井上 るり(60回) 上田 潤子(30回) 上舞 千琴 (60回) 奥野 ゆりか(40回)
 川嶋 真理(34回) 杉本 可菜(63回) 土屋 友紀 (48回) 都留 理恵子(51回)
 殿岡 真衣(69回) 新田 知子(32回)

alt 鎌田 明子(31回) 金子 陽子(46回) 榊原 緑(28回) 高山 奈夕子(43回)
 ニュースワングァー 元子(43回) 堀内 陽子(31回) 梶田 朋子(48回)



M. Ogura

小倉 麻矢 (46回) soprano

フェリス女学院大学音楽学部声楽学科卒業、同大学ディプロマコース修了。イギリスの古楽の世界に魅かれ渡英。ロンドン王立音楽大学古楽科にて演奏ディプロマ取得。在英中はナショナル・ギャラリーを始めとして演奏活動を行う。バロック・オペラ、古楽アンサンブルでの親子で楽しめるコンサート活動、リートソングの演奏など、「言葉を語り、旋律を歌う」事を目指し活動中。2019年初のソロCD「流れよ 私の涙」発売。



K. Kawasaki

川崎 香織 (57回) mezzo soprano

フェリス女学院大学音楽学部声楽学科卒業、同大学院音楽研究科修了。修了後、同大学音楽学部非常勤副手を5年間務める。声楽を辻宥子、朝倉蒼生、渡邊明の各氏に、アンサンブルを小泉ひろし氏に師事。女声アンサンブル「ルーチェ」メンバーとして演奏活動を行っている。



W. Kabasawa

榊沢 わか子 (46回) alt

フェリス女学院大学音楽学部声楽学科卒業、同大学院修了。ドイツ・ブレーメン芸術大学を経てカッセル音楽院修了。同地にてドイツ歌曲の歌唱、解釈を中心に研鑽を積む。現在は、ソロや声楽アンサンブル等の演奏活動の傍ら、幅広い世代を対象に発声・歌唱指導を行っている。NPO法人日本声楽家協会正会員、日本声楽アカデミー会員、Fontana di Musicaメンバー。



M. Banno

阪野 真結子 (60回) organ

金城学院中学・高校卒業。フェリス女学院大学音楽学部演奏学科オルガン専攻卒業。同大ディプロマコース修了。白川イタリアオルガン音楽アカデミーにて白川賞受賞。日本オルガニスト協会主催第38回オルガン新人演奏会出演。オランダ・フローニンゲン音楽院にてオルガン修士課程修了。フェリス音楽教室講師、日本基督教団長原教会オルガニスト、日本オルガニスト協会会員。

【フェリスホールのための募金コンサート】

Fグループ役員

♪原田 かおり(30回)
 ♪伊藤 裕子(27回) 金子 かおり(36回) 北原 葉子(39回) 熊澤 亜里紗(57回)
 小泉 美千代(44回) ♪小清水 桃子(55回) 小林 和子(34回) 齊藤 美和子(46回)
 ♪椎山 まゆり(33回) ♪土屋 友紀(48回) ♪般若 須美子(30回) 廣田 晴美(53回)
 ♪藤原 律子(47回) 細貝 文子(45回) 三上 まり子(33回) 宮本 祥子(58回)

Fグループ事務局

♪金子 明子(43回) 栢之間 玲子(46回) ♪：実行委員

写真・資料提供

フェリス女学院歴史資料館・フェリス女学院大学演奏会室・南風スタジオ

感謝と祈り

フェリスホールが
音楽と人を結ぶ
場所であり続けるように

音楽の記憶を 未来へつなく

Fgroup Gala Concert



フェリスホールのための募金コンサート

2026年 3月 28日 (土) 14:00 開演 (13:30 開場) フェリスホール

チケット 全席自由 3,000円 / 寄付つき5,000円

申し込み Fグループ Tel: 045-350-8930 / mail: ferris@fgroup.jp



performer

ソプラノ 海野 美栄
齊藤 京子
ピアノ 伊藤 慧
漆間 有紀
黒川 知栄子
小林 周子
長谷川 友子
オルガン 三浦 はつみ
阪野 真結子
Fグループアンサンブル (弦楽)
& 千葉 純子・井上 雅代
卒業生有志による
女声アンサンブル

program

岡島 雅興：
『水野源三の詩による5つの聖歌』より「御言葉」
W. A. モーツァルト：
デュポールのメヌエットによる9つの変奏曲 K. 573
F. ショパン： 舟歌 嬰へ長調 op. 60
E. グリーグ：『ペールギュント第1組曲』op. 46
P. チャイコフスキー：
弦楽セレナーデ 八長調 op. 48 第1楽章
W. A. モーツァルト：
『フィガロの結婚』より「手紙の二重唱」
G. F. ヘンデル：『メサイア』より
I know that my Redeemer liveth
J. S. バッハ：パッサカリア 八短調 BWV 582

ほか

SOLI DEO GLORIA

主催 | フェリス女学院大学音楽学部同窓会Fグループ
協力 | フェリス女学院大学音楽学部

伊藤 慧 & 漆間 有紀 piano

第1回山手の丘音楽コンクール連弾部門第1位、Fグループ賞、横浜ロイヤルパーク賞を受賞。サウンドインレーベルより「2台ピアノによる動物の謝肉祭」をリリース。

伊藤 慧 primo フェリス女学院大学音楽学部器楽科卒業。江口海外奨学金他多数の奨学金を授与されドイツ・ブレーメン芸術大学にて学ぶ。ポーランドクラクフ国立室内管弦楽団、N響団友オーケストラ、神奈川県フィル等と共演。サルビアホール、あじさいプラザアーティスト。全国各地のコンクールの審査員も務める。公式YouTube Kちゃんねるは登録者数17,000人、総再生回数300万回を超える。

漆間 有紀 second フェリス女学院大学音楽学部演奏学科を経て同大学院修了。器楽部門賞受賞。読売新人演奏会をはじめ、オーケストラ共演、BS-TBS「日本名曲アルバム」出演など、合唱伴奏やアンサンブルピアニストとして幅広く活動。後進の指導にもあたる。

黒川 知栄子 piano

フェリス女学院短期大学音楽科卒業、同専攻科修了。故山岡優子、故安川加寿子各氏に師事。読売新人演奏会、神奈川県立音楽堂推薦音楽会に出演。第22回文化放送音楽賞受賞。神奈川県青少年オーケストラ、井上道義指揮N響メンバーによるオーケストラと共演。第56回戸塚クラシックコンサートに出演。ウィーンメロス音楽セミナーにてJ.クロフィッチ氏に師事。現在、フェリス音楽教室講師。

小林 周子 piano

フェリス女学院中学校高等学校、短期大学音楽科卒業、同専攻科研究科修了。ピアノを川崎ミソラ、海老名道子、河野元の各氏に、歌曲伴奏をE. F. ザイラー氏に師事。欧州ではK.ゼーマン氏、H.ロロフ氏に師事。現在フェリス女学院大学並びにフェリス音楽教室非常勤講師。日本ピアノ教育連盟、横浜音楽文化協会会員。ソロ活動のほか音楽、室内楽の分野で幅広く活動している。

長谷川 友子 piano

フェリス女学院短期大学音楽科卒業、同専攻科及び研究科修了。久保浩氏に師事。神奈川県立音楽堂推薦音楽会出演。フェリス音楽教室、ヤマハ音楽教室各講師を経て自宅講師。知的障がいのある人のレッスンに携わるほか、福祉施設での演奏奉仕活動を続けている。

阪野 真結子 organ

金城学院中学・高校卒業。フェリス女学院大学音楽学部演奏学科オルガン専攻卒業。同大ディプロマコース修了。白川イタリアオルガン音楽アカデミーにて白川賞受賞。日本オルガニスト協会主催第38回オルガン新人演奏会出演。オランダ・フローニンゲン音楽院にてオルガン修士課程修了。フェリス音楽教室講師、日本基督教団長原教会オルガニスト、日本オルガニスト協会会員。

フェリスホールは
1989年に竣工されて以来、
礼拝、音楽ホール
そして授業のために
日々用いられています。
36年を経て
不具合も出てきました。

これからもホールを守り
音楽を繋いでいきたい
という祈りを
ひとつに…

世代を超えて集まった
卒業生と先生方による
彩りゆたかな演奏を
お贈りします。

本コンサートによる
チケット収益とご寄付は
全額フェリスホール
照明・音響設備改修のための
基金として
学院へ寄付いたします。
コンサートに併せて
ご寄付も
一口2,000円より
募ります。
ご賛同いただけますと
幸いです。

【お振込み先】

■ゆうちょ銀行から
記号 00280-3
番号 75184
加入者名 Fグループ

■他金融機関から
ゆうちょ銀行
店名 O二九(ゼロニキュウ)
当座 0075184
Fグループ

三浦 はつみ organ

東京藝術大学音楽学部器楽科オルガン専攻卒業。ボストン・ニューイングランド音楽院にてアーティストディプロマを取得。オルガンを秋元道雄、廣野嗣雄、島田麗子、菊池みち子、G.ボヴェ、林佑子の各氏に師事した。現在、フェリス女学院大学非常勤講師、日本聖公会横浜聖アンデレ教会オルガニスト。平成19年度横浜文化賞文化・芸術奨励賞、令和3年度横浜文化賞受賞。

海野 美栄 soprano

フェリス女学院大学音楽学部を三宅賞を以て卒業、同大学院修了。二期会公演ブリテン『真夏の夜の夢』でオペラデビュー後、国内外でオペラ、コンサートなど多数出演。また、宗教曲のソリストを務める。ニューヨークにてD. Elias、R. Falcon両氏のもと研鑽を積む。近年は合唱団の指導者としても活動している。現在、明治大学リパティアカデミー講師、二期会、東京室内歌劇場会員。

齊藤 京子 soprano

ニューヨークのジュリアード学院で研鑽を積み、1992年、若手音楽家をプロの道へと導くヤングコンサートアーティスト国際オーディションに優勝。欧米や日本の主要コンサートホールでリサイタルやオーケストラとの共演。オペラはピーター・ブルック演出「ペレアスの感銘」メリザンド役でデビュー。小澤征爾、C. アバドなど著名な指揮者と共演。2002年から4年間、母校フェリス女学院の助教授を務める。

Fグループアンサンブル

String ensemble

1990年フェリス女学院短期大学音楽科弦楽専攻の卒業生により故久保田良作氏を中心に結成。その後、音楽学部卒業生も加わり、1998年から故久山恵子氏を迎えて演奏会を重ねる。2015年フェリス女学院大学音楽学部名誉教授故名倉淑子氏を迎え、新メンバーも多数加わる。2019年より指導およびコンサートミストレスとして千葉純子氏を迎え、現在39回卒から68回卒までの21名で活動している。

Violin

千葉 純子(指導・concertmistress)
安藤 由貴 伊郷 彩花 稲葉 百合子
内山 和江 鶴田 枝里 中川 里奈
原田 せな 平田 仁美 平野 京子
平山 智子 藤林 友 三宅 彩乃
三宅 麻里花 吉田 牧子

Viola 犬飼 美奈 須之内 千草
田村 しおり 山田 典子

Cello 井上 雅代(指導) 磯野 由美
Contrabass 渡辺 恭一(賛助)

<ご案内>

◆ 出演者および曲目は
変更となる場合がございます。

◆ 未就学児も、周りの方と同じく
静かに鑑賞できる場合は、ご入場
いただけます。

